



2023.5.22<計1枚>

報道機関 各位

京都橘大学広報課

**日本人学生と留学生が錦市場でフィールドワークを実施
—言語や文化を超えたコミュニケーションで
外国人観光客を惹きつけるものの売り方や工夫を探ります—**
日時:2023年5月24日(水)12:00~12:30
場所:錦市場(京都市中京区)

京都橘大学文学部3回生の日本人学生30名と留学生11名が、錦市場でインバウンドに関するフィールドワークを行います。日本人学生と留学生がチームとなり、文化的なバックグラウンドの違いを生かした視点をもって、外国人観光客に対しての効果的な商品の販売手法やディスプレイ方法などを追求します。

これは、文学部日本語日本文学科・野村幸一郎教授が担当する正課授業「異文化交流演習Ⅱ」の一環で実施します。

“京の台所”としても親しまれている錦市場は、いまでは、世界中から観光客が訪れる名所となっています。実際に商店街を巡りながら、商品の陳列における工夫や体験型の販売手法などに焦点を当て、外国人観光客の心を掴む販売方法を模索します。

留学生と日本人学生が協力しながら調査を行うことで、異なる文化や言語に触れ、多様性への理解を深めて、異文化間のコミュニケーションスキルや柔軟性を養うことを目的としています。

また、少子高齢化が進む日本において、今後外国人労働者が増加し、多様な価値観、文化を持つ人々と協働するための素養を身につける演習の場としても位置付けています。

この調査を通して、学生たちが将来、多文化共生社会の担い手として新しい社会を築き、異文化間でのコミュニケーション能力を最大限に発揮できる一助となることを期待しています。

記

■錦市場フィールドワークの概要

日時:2023年5月24日(水)12:00~12:30

場所:錦市場(京都市中京区)

内容:商品の陳列の工夫や販売手法の良い事例を探して写真撮影を行う

参加学生:日本人学生30名、留学生11名

担当教員:京都橘大学 文学部日本語日本文学科 野村幸一郎教授

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当:花立・多田 TEL.075-574-4112